

～ 日本海難防止協会シンガポール連絡事務所発SRO news ～
(Ref No : 20-001)

1 アワ・オーシャン 2020 運営委員会の 3 月 23 日発表によると、8 月開催予定の同会議は追って通知があるまで予定通り準備が行われる。また、スケジュールに影響を与える決定は「世界保健機関（WHO）からの勧告と状況分析」に基づいて行われるが、現在の世界情勢が続く場合、会合が延期される可能性があるものの、年内になるだろうと述べた上、「パラオ政府がホスト委員会（ノルウェーとパナマ）と協議した後、決定が下される」としている。

[原文](#)

(24th March 2020, Island Times)

※以下の Island Times は、時間帯によって表示に時間がかかる場合やアクセスできない場合がございます。その際は、お手数ですが時間をしばらくおいてから再度お試しください。

2 パラオへの訪問客数は、中国、マカオ、香港からの直行便の運休と COVID-19 の世界への拡散で、パラオの観光当局発表によると、2 月の到着者数は 42% 減少し、3 月 1 日～23 日は 70.9% 減少した。ユナイテッド航空の減便（週 1 便のみ運航）等により、3 月末までに、さらに 90% 近くまで減少する可能性がある。財務省のサダン大臣は「他国からの旅行者が国外旅行を再開して、以前の状態に回復するのにはしばらく時間がかかるため、経済的影響は来年も続く」と予想される」と述べた。パラオ政府は、観光収入と関連収入の減少により今年は 3,000 万ドル歳入減を予想している。

[原文](#)

(24th March 2020, Island Times)

3 太平洋地域の新型コロナウイルスに関する感染症例数及び制限事項の概要
(3 月 26 日現在)

- ・ハワイ： 90
- ・グアム： 37（うち 1 人死亡）
- ・フランス領ポリネシア： 25、国境管理を厳格化、住民のみ入国可、地元住民も移動制限
- ・ニューカレドニア：（1 週間以内の集計 14）、2 週間の移動制限
- ・フィジー： 5、第 2 の都市ラウトカ（最初の感染者発生地）を封鎖
- ・パプアニューギニア： 1、マラペ首相が緊急事態を宣言（3 月 24 日発効）
- ・バヌアツ： 3 月 26 日にモーゼス大統領が緊急事態を宣言
- ・サモア： 3 月 25 日深夜に封鎖
- ・トンガ： 緊急事態を宣言、すべての学校は 3 月 27 日から 2 週間閉鎖
- ・ツバル： タレシ総督代理が緊急事態を宣言

- ・インドネシア・パプア州：警戒レベルを引上げ、入港を遮断
- ・ソロモン諸島：3月24日夜に緊急事態を宣言
- ・アメリカ領サモア：警戒レベル「コードブルー」、すべての教育機関は閉鎖、公的サービスは時間を変更、公的集会は一時停止
- ・北マリアナ諸島：新型コロナウイルス発生国からの入国者は14日間隔離（3月23日現在）、知事が緊急事態を宣言
- ・マーシャル諸島：出入国を完全に封鎖
- ・ミクロネシア連邦：出入国を完全に封鎖
- ・パラオ：検疫施設の整備のため、4月9日まですべての外国人の入国禁止
- ・クック諸島：3月26日午後6時警戒レベルを「コードイエロー」に引上げ、教会での礼拝を含む集会を制限、すべてのバーとナイトクラブの酒類販売取消し、感染者は未確認だが隔離中の2人の検査結果を予想

[原文](#)

(26th March 2020, Radio NZ)

4 新型コロナウイルスのパンデミックが続く中、太平洋の8か国（ミクロネシア連邦、キリバス、ナウル、パラオ、パプアニューギニア、マーシャル諸島、ソロモン諸島及びバヌアツ）と4つの地域防衛パートナー（オーストラリア、フランス、ニュージーランド及び米国）は、共同で太平洋の1,140万km²の海域の監視を海上及び上空から2週間実施した。監視活動中108隻の漁船を認め、24隻に乗船検査を実施したがIUU漁業は認められず、南太平洋漁業機関（FFA: Pacific Island Forum Fisheries Agency）は、地域の厳格な規制と監視措置が機能していることを示すものと述べた。また、同活動には、太平洋海上監視プログラムの航空機が参加した（オーストラリア政府の太平洋海上安全保障プログラムの一環で、同国防省の資金により実施されているもの。詳細：<http://www.tunapacific.org/2018/01/28/commencement-of-aerial-surveillance-pacific-maritime-security-program/>）。

[原文](#)

(26th March 2020, Radio NZ)

5 アジア開発銀行（ADB）は、新型コロナウイルス（COVID-19）対策に必要な開発途上加盟国（DMC）の差し迫ったニーズに対応するため、65億ドルの緊急支援パッケージを発表した。この緊急支援パッケージは、新型コロナウイルスの感染拡大による保健・医療や経済への影響に幅広く対応する約36億ドルの政府向け支援や、零細企業および中小企業向け、あるいは国内および域内貿易、直接的影響を受ける企業等に対する16億ドルの民間向け支援など。

[原文（日本語版）](#)

(18th March 2020, アジア開発銀行)